ASSESSMENT OF TECHNOLOGY
FOR BUILDING CONSTRUCTION

GBRC

GBRC 性能証明 第 13-03 号 改 2

建築技術性能証明書

技術名称：くし兵衛工法
ースラリー系機械攪拌式深層混合処理工法ー（改定 2）

申 込 者：地研テクノ株式会社　代表取締役社長　池冨 隆秀
神奈川県相模原市南区相南 4 丁目 23 番地 15 号　2 階
（本技術の開発は、一般社団法人先端地盤技術グループ、アキュテック株式会社、株式会社アートフォースジャパン、株式会社サムシング、株式会社ＳＡＮＹＵ、新生重機建設株式会社と共同で行われたものである。）

技術概要：本技術は、スラリー状のセメント系固化材と原位置地盤を掘削攪拌することで、改良体を築造する機械攪拌式深層混合処理工法である。本工法の特徴は、共回り防止翼とその上下の攪拌翼に鉛直方向に突起を設けた独自開発の掘削攪拌装置を用いていることである。

開発趣旨：本技術では、セメント系固化材スラリーと地盤との攪拌性能を向上させるために、共回り防止翼とその上下の攪拌翼に鉛直方向の突起を複数設けた掘削攪拌装置を開発している。この掘削攪拌装置を用いることで、低軸回転数、高速度での施工を可能にするとともに、改良体の品質の向上を図っている。

当法人の建築技術認証・証明事業 業務規程に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。なお、本証明の有効期間は、2028 年 4 月末日までとする。

2025 年 4 月 25 日　一般財団法人 日本建築総合試験所
理 事 長　川瀬 博

記

証明方法：申込者より提出された下記の資料および施工試験の立会確認により性能証明を行った。
資料 1：くし兵衛工法　性能証明のための説明資料
資料 2：くし兵衛工法　技術指針
資料 3：試験資料
資料 4：更新資料
資料 1 には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料がまとめられている。
資料 2 は、本技術の施工および施工管理についての技術指針であり、配合設計方法、施工方法および施工管理方法が示されている。
資料 3 には、資料 1 で用いた個々のボーリングコアの観察結果や圧縮試験結果、立会施工試験報告書などが取りまとめられている。
資料 4 には、施工実績や運用体制の維持状況などがまとめられている。

証明内容：申込者が提案する「くし兵衛工法　技術指針」に従って築造される改良体は、砂質土で 800 kN/m^2～2,500kN/m^2、粘性土およびロームで 450 kN/m^2～2,500kN/m^2 の設計基準強度を確保することが可能であり、配合設計および品質検査に用いる改良体コアの一軸圧縮強さの変動係数として、砂質土、粘性土およびロームで 25%を採用できる。
また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。